

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	まち美化推進事業			事業番号	010-031
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境業務課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(つ)つくる責任(つ)かう責任	ターゲット	12.8
		寄与するKPI	有	取組	環境に配慮した行動の促進		
		有・無	指標名	—	—	—	
2	関連計画	堺市一般廃棄物処理実施計画					
3	事業開始年度	平成 13 年度		点検年度	令和 5 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例 堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例、堺市まちの美化を推進する条例					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区、出先機関 土木部、公園緑地部等、地域団体・市民
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民(約83万人)、市内事業者(約3万事業所)、通勤・通学者、来訪者等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民・事業者・行政によって、地域美化活動や不法投棄の未然防止活動が協働して行われ、路上喫煙やポイ捨てのない、市民や来訪者が「住みたい」、「住み続けたい」、「また訪れたい」と思える、清潔でマナーの良い安全・安心で快適な堺市の実現
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ◆不法投棄防止対策 不法投棄多発地点の巡回監視や監視カメラの設置などにより未然防止及び実行犯への厳正な対応を行う。 ◆路上喫煙等対策 ・市民・事業者・来訪者等の喫煙マナー向上と意識の高揚を図るため、広報媒体等を活用した広報・啓発活動の継続的な実施。禁止区域における巡回員による指導・啓発及び過料徴収並びに重点啓発区域における啓発を行う。 ・区民まつりや主要駅前での啓発活動、マナー向上重点啓発区域の指定拡大、サポーターの拡充等効果的な取組みを推進する。 ◆市民や事業者等の自主的な地域美化活動の支援 ①アドプト制度 自治会等の地域住民団体、企業などの自主的な地域美化活動（主として道路清掃）を目的として登録した団体に対する清掃用具の貸し出し、傷害保険への加入、活動により排出するごみや泥などの収集等の支援を行い、市民協働によるまちの美化を図る。また、協働できる市民・事業者・団体をさらに拡大していくためには制度を広く認知してもらう必要があるため、HPや広報等により活動内容を広く周知していく。 ②町会清掃 町会やその他ボランティア団体の自主的な地域環境美化活動に対して、ごみの収集等の支援を行う。
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	収集運搬業務委託業者、広告取扱業者、ボランティア保険取扱会社、堺市美化推進協議会等
10	公民連携・協働事業	自治会等の地域住民団体、企業等による道路清掃等自主的な地域美化活動

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度 令和5年度
11 道路上の不法投棄収集件数	件	目標値	2,300	2,300	2,760	2,600
		実績値	2,459	2,844		
		達成率	93%	76%		
当該指標を選定した理由		清潔でマナーの良い安全・安心で快適な堺市の実現の要素の1つとして、不法投棄が無くなり収集が不要になることが必要不可欠であると考えたため。				
目標値の設定根拠・算出方法		最終目標は撲滅であるが、令和2年度実績を踏まえ、目標の見直しを行い、令和2年度実績を基準に毎年3%ずつ減少させる件数				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 アドプト制度登録団体による活動距離数	メートル	目標値	125,587	131,879	122,230	
		実績値	127,519	119,520		
		達成率	102%	91%		
当該指標を選定した理由		アドプト制度登録団体の活動距離が広がることは、地域美化活動が活発になっていることを示している。そのことが、清潔でマナーの良い安全・安心で快適な堺市の実現につながるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値については、令和2年度に実施したアンケート結果に基づき今回見直しを行った。前年度実績に、新規団体数の増目標と前年度1団体あたりの平均活動距離(清掃区間)を乗じたものを合わせた距離数を目標値とする				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	まち美化推進事業	事業番号	010-031
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	31,510	28,589	29,167	28,247	28,745
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他（環境都市推進基金繰入金）		28,177		
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	31,510	412	29,167	28,247	28,745
14 人件費 (b)	62,600	60,100	63,500	63,500	63,500
15 年間経費(c)=(a)+(b)	94,110	88,689	92,667	91,747	92,245

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
	R3 予算	10,911	10,911	R3 予算	1,243	1,243	
16 事業費内訳	R2 決算	4,950	4,950	費用弁償（通勤費）	R2 決算	1,056	1,056
		R3 予算	5,147		5,147	R3 予算	624
施設警備等委託料	R2 決算	2,964	2,964	堺市美化推進協議会負担金	R2 決算	861	861
	R3 予算	3,432	3,432		R3 予算	1,261	1,261
消耗品費（枠）	R2 決算	2,308	2,308	物品等修繕料（枠）	R2 決算	860	860
	R3 予算	2,334	2,334		R3 予算	0	0
その他保険料（枠）	R2 決算	1,286	1,286	その他（旅費、備品購入費など）	R2 決算	1,808	1,808
	R3 予算	1,324	1,324		R3 予算	2,469	2,469

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 道路上の不法投棄収集件数	件	2,459	2,844
② 上記①にかかる年間経費	千円	17,990	17,884
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,316	6,288
備考（算出についての説明等）	不法投棄防止に向けた経費及び人件費に不法投棄件数を除したもの		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 道路上の不法投棄収集件数は、前年度に比べ約400件の増となった。これは、あえて推測するならば、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、在宅者が増えた結果、自宅の片付けをする機会が増え本来粗大ごみとして出さなければいけないものなどを不法投棄するケースが増えたためであると思われる。ただし、不法投棄防止対策に要する経費については前年度並みの費用に抑えたので、単位当たり経費が減少する結果となったものである。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 令和2年度までの路上喫煙対策の巡視活動及び啓発活動、不法投棄対策、アドプト支援活動を地道に継続したことに加え、庁内関係部局との連携強化を図ることで、「捨てられたものを収集する」だけの美化から「捨てられないよう未然に防止する」美化への取組への転換が功を奏してきたものと考えられる。

しかし、令和2年度は、上記「18」に記載とおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、一部アドプト活動団体の解散による活動距離数の減少、道路上の不法投棄件数の増加がみられた。その結果をみると、路上喫煙やポイ捨てがなく、市民や来訪者が「住みたい」、「住み続けたい」、「また訪れたい」と思える、清潔でマナーの良い安全・安心で快適な堺市の実現に十分寄与することができなかつたと言わざるを得ない。

その一方で、企業等民間事業者をターゲットとした堺商工会議所へのアドプト活動を勧誘するチラシの配架や路上喫煙等マナー向上重点啓発区域の拡充に向けた調整、インパクトのある不法投棄防止看板の作成など事業目的の実現に寄与するための動きも行っている。今後も、政策企画部が行っている企業・大学との包括連携に向けた調整の中でアドプト活動をはじめとする美化活動への協力を働きかけること、光明池駅前周辺の路上喫煙等マナー向上重点啓発区域の指定、AIの活用検討など効果的な不法投棄防止方策の実施等で、目標の実現をめざす。